

実施期間 令和4年12月7日（水）～28日（水）

実施方法 アンケートフォーム（市ホームページ内）

紙（障がい福祉課窓口、カフェドットコム、公民館ほか公共施設）

回答者数

	ネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
	120	14	40	174

参考資料2-1

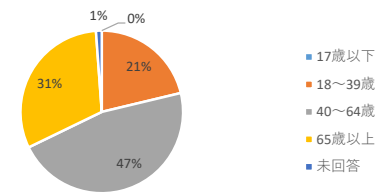
あなたについて

問1 年代

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
17歳以下	0	0	0	0
18～39歳	35	2	0	37
40～64歳	70	5	6	81
65歳以上	15	6	33	54
未回答	—	1	1	2
合計	120	14	40	174

年代

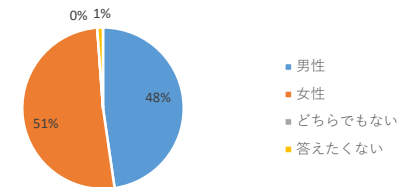


問2 性別

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
男性	70	3	10	83
女性	50	10	29	89
どちらでもない	0	0	0	0
答えたくない	0	1	1	2
合計	120	14	40	174

性別

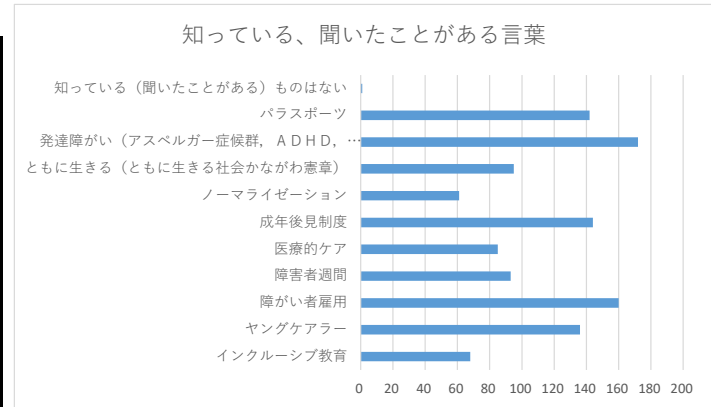


障がいの認知等について

問3 知っている、聞いたことがある言葉

回答 全て

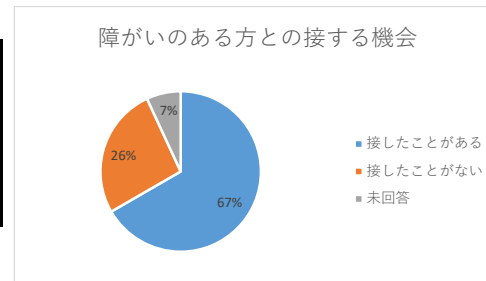
	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
インクルーシブ教育	59	7	2	68
ヤングケアラー	97	12	27	136
障がい者雇用	113	11	36	160
障害者週間	70	8	15	93
医療的ケア	63	6	16	85
成年後見制度	104	11	29	144
ノーマライゼーション	57	2	2	61
ともに生きる（ともに生きる社会かながわ憲章）	73	7	15	95
発達障がい（アスペルガー症候群，ADHD，自閉症等）	112	13	47	172
パラスポーツ	107	12	23	142
知っている（聞いたことがある）ものはない	1	0	0	1



問4 障がいのある方との接する機会（1年以内）

回答 1

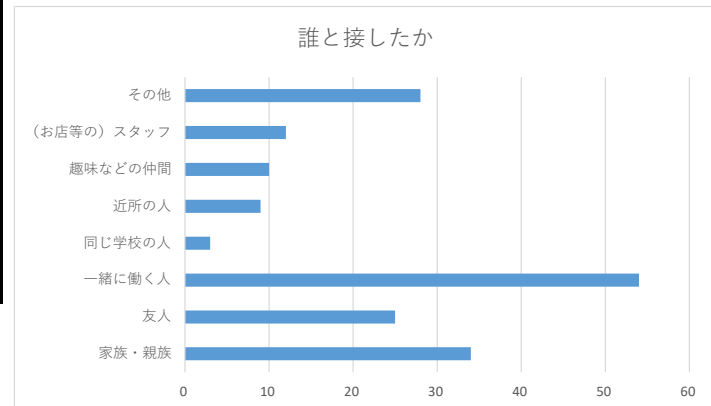
	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
接したことがある	92	9	15	116
接したことがない	28	4	14	46
未回答	0	1	11	12
合計	120	14	40	174



問4-1 誰と接したか

回答 全て

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
家族・親族	25	1	8	34
友人	18	3	4	25
一緒に働く人	48	5	1	54
同じ学校の人	3	0	0	3
近所の人	8	1	0	9
趣味などの仲間	8	0	2	10
（お店等の）スタッフ	9	0	3	12
その他	26	1	1	28
合計	175	11	17	203

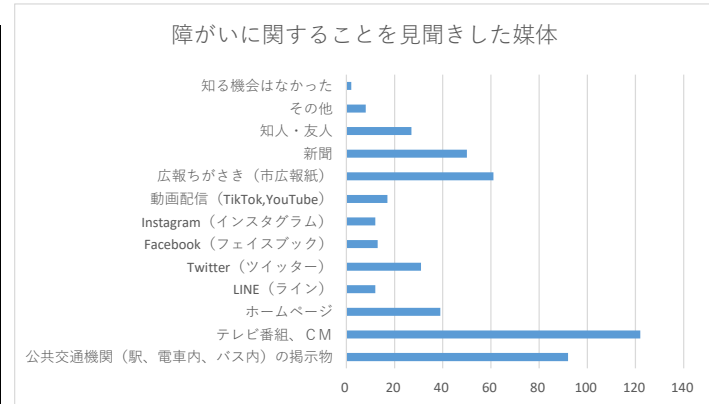


問4-2 その他（自由記述部分のため別紙）

問5 障がいに関することを見聞きした媒体（1年以内）

回答 全て

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
公共交通機関（駅、電車内、バス内）の掲示物	69	5	18	92
テレビ番組、CM	90	11	21	122
ホームページ	38	0	1	39
LINE（ライン）	11	1	0	12
Twitter（ツイッター）	30	0	1	31
Facebook（フェイスブック）	13	0	0	13
Instagram（インスタグラム）	11	1	0	12
動画配信（TikTok,YouTube）	15	1	1	17
広報ちがさき（市広報紙）	43	4	14	61
新聞	40	4	6	50
知人・友人	13	4	10	27
その他	4	2	2	8
知る機会はなかった	2	0	0	2



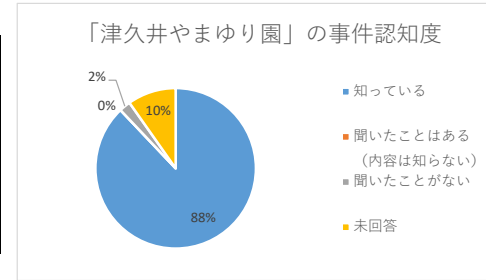
問5-1 その他（自由記述部分のため別紙）

障がい者差別について

問6 「津久井やまゆり園」の事件認知度

回答 1

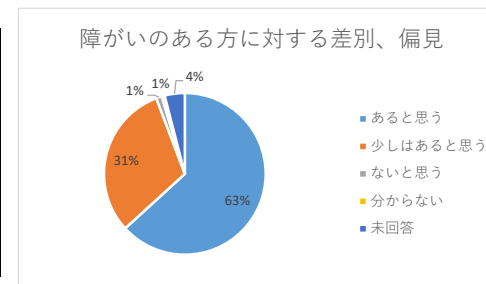
	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
知っている	117	12	24	153
聞いたことはある (内容は知らない)	0	0	0	0
聞いたことがない	3	1	0	4
未回答	0	1	16	17
合計	120	14	40	174



問7 障がいのある方に対する差別、偏見

回答 1

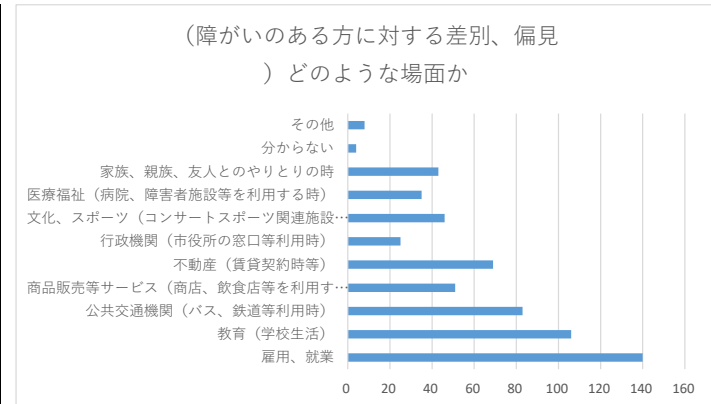
	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
あると思う	83	5	22	110
少しはあると思う	34	8	12	54
ないと思う	2	0	0	2
分からない	1	0	0	1
未回答	0	1	6	7
合計	120	14	40	174



問7-1 どのような場面か

回答 全て

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
雇用、就業	102	10	28	140
教育 (学校生活)	84	10	12	106
公共交通機関 (バス、鉄道等利用時)	63	6	14	83
商品販売等サービス (商店、飲食店等を利用する時)	42	2	7	51
不動産 (賃貸契約時等)	54	7	8	69
行政機関 (市役所の窓口等利用時)	21	1	3	25
文化、スポーツ (コンサートスポーツ関連施設等を利用する時)	41	1	4	46
医療福祉 (病院、障害者施設等を利用する時)	28	1	6	35
家族、親族、友人とのやりとりの時	35	3	5	43
分からない	3	1	0	4
その他	7	1	0	8

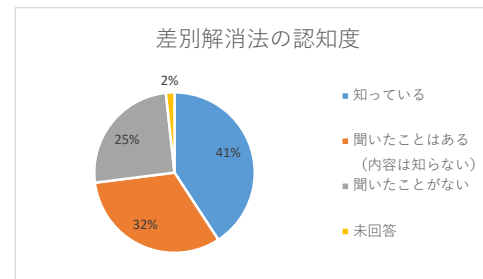


問7-2 その他 (自由記述部分のため別紙)

問8 差別解消法の認知度

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
知っている	62	3	6	71
聞いたことはある (内容は知らない)	32	7	17	56
聞いたことがない	26	3	15	44
未回答	0	1	2	3
合計	120	14	40	174



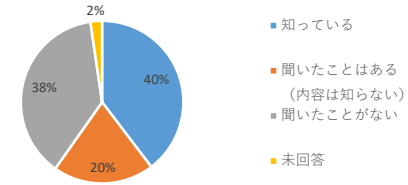
合理的配慮について

問9 合理的配慮の認知度

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
知っている	62	4	3	69
聞いたことはある (内容は知らない)	18	3	14	35
聞いたことがない	40	6	20	66
未回答	0	1	3	4
合計	120	14	40	174

合理的配慮の認知度

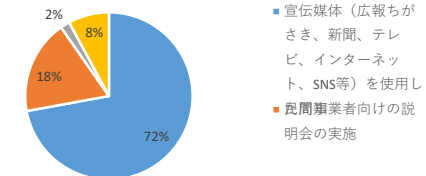


問10 合理的配慮を浸透させる (広める) 方法

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
宣伝媒体 (広報ちがさき、新聞、テレビ、インターネット、SNS等)	90	11	18	119
民間事業者向けの説明会の実施	15	6	9	30
(事業者も事情があるので) 特別な配慮をする必要はない	2	1	0	3
その他	13	0	0	13

合理的配慮を浸透させる (広める) 方法



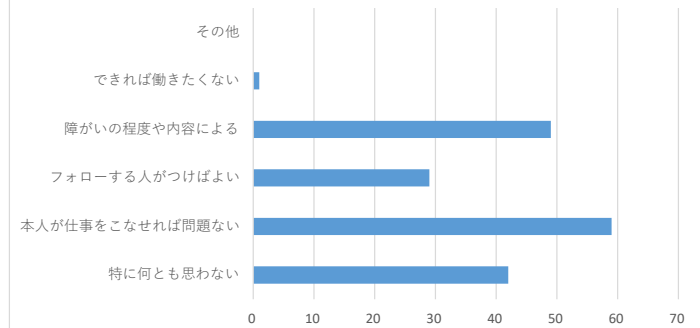
問10-1 その他 (自由記述部分のため別紙)

問11 障がいのある方と一緒に働くこと

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
特に何とも思わない	28	7	7	42
本人が仕事をこなせれば問題ない	40	6	13	59
フォローする人がつければよい	14	3	12	29
障がいの程度や内容による	37	3	9	49
できれば働きたくない	1	0	0	1
その他	0	0	0	0

障がいのある方と一緒に働くこと



問11-1 その他 (自由記述部分のため別紙)

## ヘルプマークについて

問12 ヘルプマークの認知度

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
知っている	97	11	24	132
知らない	13	1	3	17
見たことはある	10	1	2	13
未回答	0	1	11	12
合計	120	14	40	174

問12-1 着用者への声掛け、手助け

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
したことがある	38	6	7	51
したことがない	69	5	24	98
未回答	13	3	9	25
合計	120	14	40	174

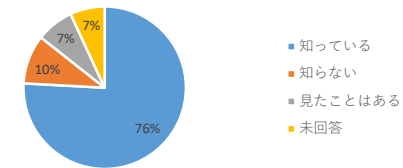
問12-2 その他 (自由記述部分のため別紙)

問12-3 手助け、声掛けしにくい理由

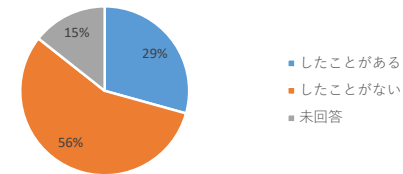
回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
相手がどのように反応するか分からないので不安	21	6	14	41
おせっかいのような気がする	15	6	4	25
相手や周囲に気恥ずかしさを感じるから	2	1	2	5
適切に対応できそうもないから (何をしていいか分からない)	17	4	11	32
手伝えることは障がいのある方のためにならないから	0	0	0	0
関りたくないから	1	0	0	1
専門の人や関係者にまかせた方がよいと思うから	1	0	1	2
未回答	63	0	0	63

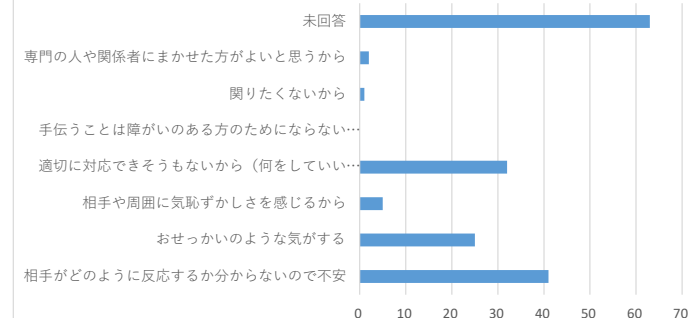
ヘルプマークの認知度



(ヘルプマーク) 着用者への声掛け、手助け



(ヘルプマーク) 手助け、声掛けしにくい理由



虐待防止について

問13 障害者虐待防止法の認知度

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
知っている	61	2	11	74
聞いたことはある (内容は知らない)	32	8	16	56
聞いたことがない	27	3	7	37
未回答	0	1	6	7
合計	120	14	40	174

問14 虐待を確認した際の市虐待防止センターへの通報義務の認知度

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
知っている	47	2	6	55
聞いたことはある (内容は知らない)	21	1	7	29
聞いたことがない	52	9	13	74
未回答	0	2	14	16
合計	120	14	40	174

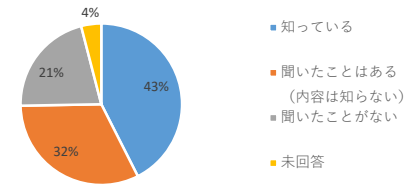
問15 虐待を確認した際の市虐待防止センターへの通報

回答 1

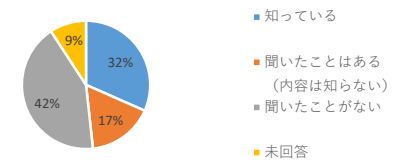
	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
少しでも疑いがあれば「通報する」	31	1	9	41
周囲の人等に相談してから「通報する」	67	9	15	91
虐待かどうか判断が難しいので「通報しない」	8	1	3	12
関わりたくないで「通報しない」	1	0	0	1
考えたことがないので分からない	13	1	0	14
その他	0	0	0	0
未回答	0	2	13	15
合計	120	14	40	174

問15-1 その他 (自由記述部分のため別紙)

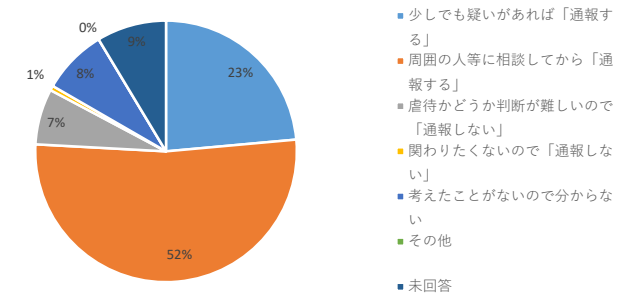
障害者虐待防止法の認知度



虐待を確認した際の市虐待防止センターへの通報義務の認知度



虐待を確認した際の市虐待防止センターへの通報





障がい福祉全般について

問16 障がいの「ある」「なし」にかかわらず、ともに生きる社会を実現するための手法

回答 最大3

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
幼少期から障がいのある児童や障がいのある方と自然に関わることのできる環境	86	12	22	120
学校における障がいに関する研修	87	4	12	103
障がいのある方が共に参加できる活動やイベントの実施	44	3	15	62
障がいのある方を支える地域での支援	45	5	12	62
障がいのある方を支える福祉サービスの充実や支援者の育成	53	4	20	77
障がいのある方が働きやすい環境	71	5	14	90
障がいのある方を支える家族等への支援	53	4	14	71
分からない	2	0	1	3
その他	0	0	0	0

588

問16-1 その他 (自由記述部分のため別紙)

問17 設問の数

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
多い	31	6	14	51
適当	88	7	12	107
少ない	1	0	1	2
未回答	0	1	13	14
合計	120	14	40	174

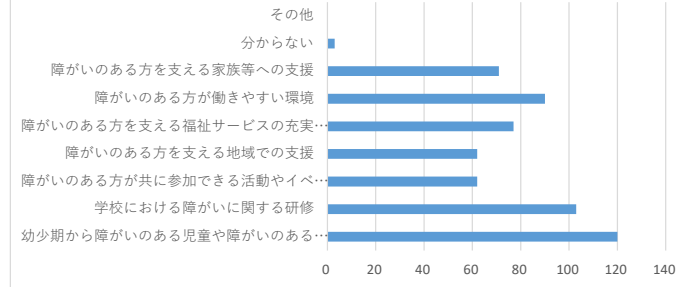
問18 回答のきっかけ

回答 1

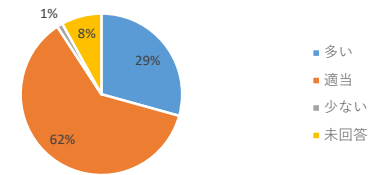
	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
自分に障がいがあるから	12	0	2	14
親族に障がいのある方がいるから	16	1	7	24
過去に障がいのある方と接したことがあるから	25	8	12	45
障がい福祉に関する仕事をしているから	15	3	0	18
障がい福祉について勉強した事がある	3	1	0	4
意見を障がい福祉施策に役立てたいから	8	3	4	15
障がい福祉施策について興味があるから	4	2	7	13
時間があつたから	27	2	12	41
その他	4	0	0	4

問18-1 その他 (自由記述部分のため別紙)

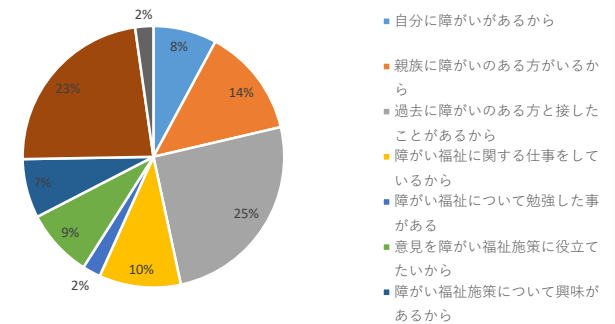
障がいの「ある」「なし」にかかわらず、ともに生きる社会を実現するための手法



設問の数



回答のきっかけ



問19 アンケートを知った媒体

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
広報ちがさき	12	0	4	16
市ホームページ	44	0	0	44
Twitter (ツイッター)	12	0	0	12
メール配信	1	0	0	1
デジタルサイネージ (市役所エレベータ横にある電子掲示板等)	5	1	0	6
公共施設に掲示されていたポスター	10	0	0	10
その他	36	12	19	67
未回答	0	1	17	18
合計	120	14	40	174

問19-1 その他 (自由記述部分のため別紙)

アンケートを知った媒体

